

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35202	中国語会話 Chinese Conversation	邱 靖媚		専門	1	選択	1. 2年前期
科目の概要							
発音記号（PINYIN）と声調（四声）の練習（8句の三字経節録）から中国語の授業が始まる。 ・中華圏の文化と社会に触れながら授業を進める。 ・中国及び世界の華人社会、文化、習慣などを理解しようというきっかけになる。							
学修内容			到達目標				
① 中国語発音の仕方、四声の区別と簡体字を認識する。 ② シチュエーションによって挨拶する。 ③ 発音記号PINYINにより朗読する。 ④ 基本文型により作文する。 ⑤ 自分の作文を発表する。			① PINYINの仕方と四声をマスターすることができる。 ② 簡単な挨拶することができる。 ③ 8句の三字経節録を朗読することができる。 ④ 簡単な文法を利用し、「自己紹介」の文章を5センテンスを作成することができる。 ⑤ 自分の言葉で「発表」をすることができる。				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業を通して、練習方法を見つけます。受け身ではなく、積極的に授業参加し、自ら通常点を獲得できる。練習の時、常に口をあけて、会話力を身に着ける。方法がゲットできれば、自ら練習をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標を達成するために、間違いを恐れず、練習のプランを立て、行動する。練習の方法、習慣により、言葉の新しい表現が生まれ、目標を達成することができる。					
考え抜く力	課題発見力	自らの会話力を冷静に判断し、上達する方法を仲間と一緒に練習し、改善することができる。					
	計画力						
	創造力	コミュニケーションの時、相手に何を伝えたい、言い換えることによって、言いたいことを表現できる。					
チームで働く力	発信力	練習によって質問ができ、得意と苦手の部分を自ら克服する方法を見つけることができる。					
	傾聴力	改善また上手になるため、教員の説明、また仲間のアドバイスを聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業中に迷惑を掛けた時に、適切な態度、行動をとり、あるべき心構えとマナーを守る。 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しません。（プリント使用） 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
後期の選択科目「アジアの文化と社会」、と一緒に履修することが望ましい。 華人社会と異文化の認識ができ、学生諸君がより良い常識人、国際人になると望む。							
学修上の助言			受講生とのルール				
外国語はコミュニケーションのツールの一つしか過ないのですが、ツールが多ければ多いほど、友達との楽しみが増えますし、理解も深まる。 授業毎にプリントを配布する。発音の仕方、中国、日本、そして台湾漢字の相違、基本文法の例文と宿題（練習問題）をノートに書くことが望ましいと思う。			間違いを恐れず、口を開けて、声を出して、先生、クラスの仲間達と一緒に練習しながら、自分にとって最良な学習方法を見つけよう。 練習のために、できれば一人ではなく、二人一緒に着席するよう。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓		・漢字（繁体字、簡体字と日本漢字）の区別、そして発音記号、基礎文法を正確に表現する。 ・短いフレーズの応用 ・シチュエーションによつての挨拶	
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			自己紹介の発表について、声の大きさ、発音、声調（四声）と言葉の正確さで判断する。
				②				
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		（主体性）正しい発音を習得するために、間違いを恐れず、大きな声で練習する。 （実行力）目標のために、学修プランを立て最後までやりきることができる。 （課題発見力）口をあげて練習し、見極めることができる。 （創造力）コミュニケーションを取るために言い換えることによって表現する。 （発信力）自己紹介の発表によって、言いたいことを見つける。 （傾聴力）正しい発音方法をゲットするために、一人ではなく教員と共に、仲間のアドバイスを聞き取ることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォロー（レポート課題）を行う。			
		②	✓					
		③	✓					
		④	✓					
		⑤	✓					
学修行動	総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①積極的に授業に参加し、欠席、遅刻の理由報告する。 ②自己紹介の発表、三字経の朗読（声の大きさ、発音と四声正しく）、 ③質問に対して積極的に答える。 ④筆記試験の判断する。 ①②③④到達する人が（秀）の成績を獲得できる ②③④到達する人が（優）の成績を獲得できる	①積極的に授業に参加する。 ②自己紹介の発表、三字経の朗読する（声、発音と四声）。 ③自己紹介の発表、三字経の朗読する。 ④筆記試験の判断。 ①②④到達するの人が（良）の成績を獲得できる ①③④到達するの人が（可）の成績を獲得できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	中国の地理、文化、習慣(衣食住)から導入、中国語の子音、母音と声調をスタートし、関連ある単語を練習する。 「中国語、漢字について」を調べましょう。	プリント01 講義 中国語を学習する前に華人社会と文化から入る。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分・復習45分> 授業にかんする簡単な挨拶から ・老師好 ・謝謝老師	90	傾聴力
2	発音と声調の組み合わせを実習するために、8句の「三字経」を導入し、これから授業始まる前に朗読する。	プリント02 講義と練習 ピンインの導入&シチュエーションによって、挨拶の言葉5個から始まる。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分・復習45分> 発音と声調の組み合わせ ・「三字経」の練習 ・5個挨拶の言葉からスタートする。	90	主体性
3	基本文型SV0を導入1 人称代名詞(単数、複数) 肯定文 否定文 疑問文	プリント03 講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分・復習45分> プリントの練習問題を宿題として、次回の授業で確認と訂正をする。	90	傾聴力
4	基本文型SV0を導入2 指示代名詞(単数、複数) 肯定文 否定文 疑問文	プリント04 講義と練習 中国語で出席を取るために、自分の名前を確かめながら、出席をする。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリントの練習問題を宿題として、次回の授業で確認と訂正をする。	90	実行力
5	基本文型SV0を導入3 <動詞> 肯定文 否定文 疑問文	プリント05 講義と練習をする。 →→→(短文の完成) 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリントの練習問題を宿題として、次回の授業で確認と訂正をする。	90	課題発見力
6	導入1～3までの復習	プリント06 (課題の提出) ↑↓ (答えの訂正) 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリント1～5の中間復習1	90	実行力
7	基本文型SV0を導入4 量詞(数量詞)と形容詞の導入	プリント07 講義& 書く練習、と読む練習する。 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリントの練習問題を宿題として、次回の授業で確認と訂正をする。	90	課題発見力
8	基本文型導入5 疑問詞があるために、疑問文の文末の「吗」必要なし。	プリント08 講義と書く練習、と読む練習する。 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリントの練習問題を宿題として、次回の授業で確認と訂正をする。	90	創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	基本文型SV0を導入6 動詞完了形と所在を表現する。	プリント09 講義と書く練習、と読む練習する。 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリントの練習問題を宿題として、次回の授業で確認と訂正をする。	90	実行力
10	自己紹介の作文の骨組みを作成し始まる。 重点： ①相手に何を伝えたい？ ②自らポイントを考える。	プリント10 講義と書く練習、と読む練習 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> ステップ1：文章の骨組みを作成する。 ステップ2：文章の内容を装飾する。 ステップ3：文章の長さを決める。 ステップ4：発音を確認する。 ステップ5：練習する。	90	創造力
11	基本文型SV0を導入7 存在を表現する（有）と距離を表す（離）の練習。	プリント11 講義と書く練習、と読む練習 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリントの練習問題を宿題として、次回の授業で確認と訂正をする。	90	課題発見力
12	自己紹介の文章（10センテンス）を完成。 「お家は何人家族ですか？」 「私は一人っ子です。」 「兄一人、姉一人の三人兄弟です。」	プリント12 書く練習、と読む練習する。 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> 訂正完了の文章をもう一度清書して整理するように。	90	発信力
13	導入4～7までの復習	プリント13 (課題の提出) ↑↓ (答えの訂正) 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> プリント6～11の中間復習2	90	課題発見力
14	練習した「自己紹介」を中国語で披露する。	プリント14 講義と練習 自ら中国語を使って話すことができ、自信倍増する。 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習45分間・復習45分間> 自己紹介の発表。	90	発信力
15	導入1～7期末試験の復習と準備～ プリント15 (今までの学修の総合復習課題の提出)	プリント15 (課題の提出) ↑↓ (答えの訂正) 質問と発見 毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<復習90分間以上> 期末試験の準備をする。	90	規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力